

1 学校運営の中期目標

現状と課題

- 令和 2 年度の校内調査において、いじめの認知件数は **2 件 (R1: 4 件)** で、すべて解決済みである。
- 令和元年度の全国学力・学習状況調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」答えた生徒の割合は、**95. 0%** であった。**(令和 2 年度は未実施)**
- 令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける平均点合計の対大阪府比率は、現 3 年生が **122% (R1: 123%)**、現 2 年生が **120%** であった。
- 令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける正答率 5 割以下の生徒の割合は、現 3 年生が **22. 6% (R1: 15. 5%)**、現 2 年生が **17. 1%** であった。
- 令和 2 年度の中学生チャレンジテストにおける正答率 8 割以上の生徒の割合は、現 3 年生が **26. 9% (R1: 30. 2%)**、現 2 年生が **35. 1%** であった。
- 令和 2 年度の校内調査において、校内で暴力行為を複数回行う加害生徒はなかった。
- 令和 2 年度の校内調査において、不登校の生徒数は **21 人 (R1: 17 人)** であった。
- 令和 2 年度の全国学力・学習状況調査における「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の項目について、「している（どちらかというとしている）」と答える生徒の割合は、**42. 5% (R1: 42. 5%)** であった。
- 令和元年度の全国学力・学習状況調査における「自分にはよいところがあるとおもいますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、あてはまる）」と答える生徒の割合が **70. 7%** であった。**(令和 2 年度は未実施)**
- 令和元年度の全国学力・学習状況調査における「普段 1 日あたりどれぐらいの時間、勉強をしますか」に対して「1 時間未満」と答える生徒の割合は、**22. 3% (R1: 22. 3%)** であった。

中期目標

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 令和3年度の校内調査において、いじめの件数を平成28年度より減少させる。
- 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を、平成28年度より2ポイント向上させる。
- 令和3年度の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を0にする。
- 令和3年度の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を、平成28年度より減少させる。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 令和3年度の中学生チャレンジテストにおける平均点の対大阪市比率を、同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より4ポイント増加させる。
- 令和3年度の中学生チャレンジテストにおける正答率5割以下の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より4ポイント減少させる。
- 令和3年度の中学生チャレンジテストにおける正答率8割以上の生徒を同一の母集団で比較し、いずれの学年も平成28年度より4ポイント増加させる。
- 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「学級会などの話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、平成28年度より増加させる。
- 令和3年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である50m走の平均の記録を、平成28年度よりも0.3ポイント向上させる。
- 令和3年度の全国学力・学習状況調査における「普段1日あたりどれぐらいの時間、勉強をしますか」に対して「1時間未満」と答える生徒の割合を、20%以下に減少させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 校内調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を、95%以上にする。
- 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。
- 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 生徒アンケートにおける「学校での毎日が楽しい」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 85%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 45%以上とする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

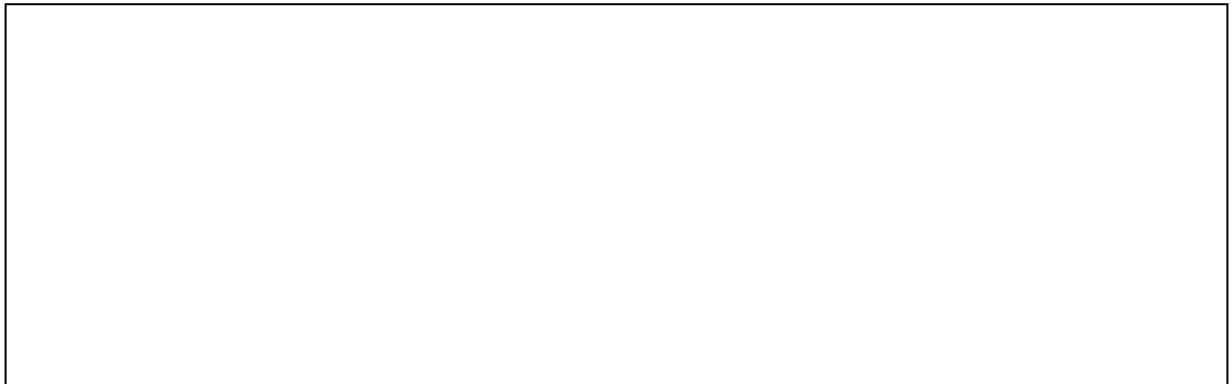
全市共通目標（小・中学校）

- 中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の 7 割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。
- 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を 2 割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。
- 校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 50m走の平均の記録を、前年度よりも 0.1 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 生徒アンケートにおける「先生は、教え方をいろいろ工夫している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 90%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 50%以上とする。

3 本年度の自己評価結果の総括



大阪市立北稜中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○年度末の校内調査において学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95% 以上にする。</p> <p>○全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合を、95% 以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒数を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p>	
<p>学校の年度目標</p> <p>○生徒アンケートにおける「学校での毎日が楽しい」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 85% 以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 45% 以上とする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 教育相談（個人面談）・いじめアンケート等により、個々の生徒の現状を把握する。また、SSWやスクールカウンセラー等関係諸機関との連携を密に行い、スクリーニング会議を充実させる。	
指標 いじめアンケートを各学期に1回、教育相談を年に2回、スクリーニング会議Ⅰを毎月、会議Ⅱは学期に1回以上行う。	
取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】 通常学級に在籍する支援を要する生徒および不登校生徒の対応に向けて相談室を兼ねた『リソースルーム』を設置する。	
指標 リソースルームを設置し、環境を整備するとともに、インクルーシブ教育の推進を図る。あわせて不登校生徒の減少をめざす。	
取組内容③【施策2 道徳心・社会性の推進】 道徳教育推進教師のもと各学年の道徳教育推進委員を中心に道徳指導方法に関する資料を蓄積する。また、特別の教科「道徳」の評価の在り方を研究、周知する。	
指標 道徳教育推進委員を中心として評価についての資料を作成し全教職員に周知する。「道徳」の研究授業を実施する。	
取組内容④【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 自己の理解を深め、職業の実像をつかみながら、望ましい勤労観、職業観を身に付けるとともに、事業所や地域との深い連携・協力関係のもとに、生きた学びの場を構築していくという観点から、『職場体験学習』実施に向けて準備を進める。	
指標 令和3年度の『職場体験学習』（2年生）の実施に向け学校行事の精選を図る。	
取組内容⑤【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 学級数増に伴い5階に移動した図書室の館内環境整備を、学校図書館補助員および学校元気アップ図書ボランティアと連携しながら進め、図書室を活用した『調べ学習』や『読書活動』の活性化を図る。	
指標 図書室の利用数を昨年度より増加させる。	
取組内容⑥【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 玄関大型モニターの設置や式典・行事記録用機器および映像提示機器等の整備を進める。地域・保護者の来校時に、学校の取組等を映像を用いて知らせることで、学校情報をできる限り公開し、協力体制の強化を図り、子どもたちを地域全体で見守っていく意識を高める。	
指標 保護者アンケートにおける「学校が施設・設備面での環境整備を十分に行っていいる」の項目について、肯定的に答える保護者の割合を90%以上とする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

大阪市立北稜中学校 令和 3 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける対府平均比を、同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント減少させる。</p> <p>○中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回る生徒の割合を同一母集団で比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント増加させる。</p> <p>○校内調査における「学校の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>○全国体力・運動能力、運動習慣調査において、特に課題である 50m走の平均の記録を、前年度よりも 0.1 ポイント向上させる。</p>	
<p>学校園の年度目標</p> <p>○生徒アンケートにおける「先生は、教え方をいろいろ工夫している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を 90% 以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を 50% 以上とする。</p>	

<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗 状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 社会・数学・理科・英語の4教科において、習熟度に応じた授業を実践するとともに、自律的・協働的な学びの推進を通して、課題解決力を向上させる。</p>	
<p>指標 社会・数学・理科・英語の4教科において、習熟度別少人数授業を実施することで、いわゆる「フタコブラクダ」状態を改善する。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】 学力向上に向けた学習教材の作成や各行事等の取組資料の作成を目的とする機器の整備を進めるとともに、一人一台端末等のICT機器の有効な活用と合わせて授業力の向上を目的としICT機器の整備を進める。</p>	
<p>指標 生徒アンケートにおける「先生は、教え方をいろいろ工夫している」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を90%以上とする。</p>	
<p>取組内容③【施策6 国際社会において生き抜く力の育成】 ネイティヴ・スピーカー教員(C-NET)の効果的な活用を図る。</p>	
<p>指標 週1回、各学年隔週(年間17時間)、C-NET教員とのTT授業を行う。</p>	
<p>取組内容④【施策7 健康や体力を保持推進する力の育成】 体育の授業において、補強運動・長距離走を実施することにより、基礎体力の向上を図るとともに、タブレット端末等を活用した授業を行うことで、運動する楽しさを味わわせる。</p>	
<p>指標 保健の授業に限らず、タブレット端末等を活用することで、生徒の興味関心を向上させる。生徒アンケートにおける「ICT機器を活用した授業はわかりやすい」の項目について、肯定的に答える生徒の割合を85%以上かつ、「よくあてはまる」と答える生徒の割合を45%以上とする。</p>	
<p>取組内容⑤【施策7 健康や体力を保持推進する力の育成】 成長期にある生徒が、食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けることができるよう食育を推進する。</p>	
<p>指標 栄養協と年3回以上連携し、給食を通して食育を推進させる。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

次年度への改善点

(様式 3)

令和 3 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立北稊中学校学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：
年度目標：
・
・
・
・

3 今後の学校園の運営についての意見

--